

市民団体「スカイネット」設立

阿武隈川河川敷のグライダー滑空場を核に地域振興を進めようと、角田市に市民団体「スカイネット角田」が設立された。十月には国内初となるグライダーの曲芸競技会も開催し、スカイスポーツの都市・角田の売り込みを図る。

市内では、地元の商工あつた設立総会には、メ
会青年部のバックアップンバーのほか佐藤清吉角
を受け、県航空協会など田市長や市議会議員など
が河川敷に滑走路を整約五十人が出席。会長に
備。協会はこれまでの陸西村明宏衆院議員を選任
上自衛隊霞目飛行場(仙した。発起人の佐藤忠義
台市)から活動拠点を角代表理事が「滑空場の発
田に移しつつある。展に市民の協力が不可

四年前から年二回程欠。グライダーを通し、
度、スカイスポーツフェ阿武隈川の河川空間の再
ステイバルを開催、市民整備、利用を進めていき
への浸透を図っている。たい」とあいさつした。
今年六月には商工会青年今後は、市民の体験搭
部OBらが市民団体の設乗やグライダー教室開
立準備会を組織、市役所催、競技会誘致などを計
や国土交通省などへの働画している。第一弾の事
業として十月九―十一
七月二十九日に市内で日、国内初となる曲芸飛

角田を滑空のまちに

来月国内初 グライダーの曲芸大会

スカイネット角田 設立総会



角田をスカイスポーツのメッカにしようと設立された「スカイネット角田」

行競技会「エアロパティ市民の参加を促す予定
ックジャパン」を開催。だ。
ポーランドから世界トッ入会申し込み、競技会
プの競技者を招くほか、の問い合わせはスカイネ
紙飛行機大会やイラストット角田事務局0224
コンテストを通して幅広(61)1350。